



(公財)水道技術研究センター
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1
虎ノ門電気ビル2F
TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215
E-mail jwrchot@jwrc-net.or.jp
URL <http://www.jwrc-net.or.jp>

ドナウ流域の上下水道サービス (その7) －ハンガリー (Hungary)－

(出典) Hungary Country Note

http://sos.danubis.org/files/File/country_notes_pdf/SoS_Hungary.pdf

(参考) ハンガリーの概要

- 1 面積：約 9.3 万平方キロメートル (日本の約 4 分の 1)
- 2 人口：約 990 万人 (2015 年 7 月現在、中央統計局)
- 3 首都：ブダペスト

(出典) 外務省 HP

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/hungary/data.html>



1. 上下水道サービスの組織及び主体

市町村及び中央政府は、上下水道サービスの提供に責任がある。中央政府と市町村の間には、資産の所有権に応じた上下水道サービスの提供に対するそれぞれの責任がある。2012年以前は、400近い上下水道事業体が存在していた。上下水道事業セクターの改革の結果として、事業体数は2015年には41に減少した。2017年までに、上下水道事業の運営免許を得るために必要とされる最少規模は、人口換算で15万人相当となるであろう。ほとんどの市町村事業体は、複数の町村に給水している。これらの会社及び上下水道サービス提供事業会社の資産は、参加市町村の所有である。5つの広域事業体につ

いては、国が大部分を所有している（市町村及び従業員が株のわずか数%を所有している）いるが、サービスの提供に対して使用される資産は一部を国が所有しており、また、資産の一部は市町村が所有している。人口の2.5%にサービスを提供する2つの上下水道コンセッションがあり、これらはセゲド（Szeged、セゲド水道会社：Szegedi Vízmű）及びソルノク（Szolnok、上下水道事業コンセッション会社：Víz és Csatornaművek Koncessziós ZRt）に位置している。また、ブタベストに、唯一の下水道コンセッション（FCSM）がある。

[ハンガリーの上下水道サービスの組織及び主体]

水サービス提供事業者数：41 事業者（2014 年、出典：専門家の推計）

1 事業者当たり平均給水人口：226,912 人（2013 年、出典：筆者の推計）

サービス提供事業者の主なタイプ：市町村事業体

サービスの範囲：上下水道

所有者：市町村（51%）、国（23%）、民間運営者を含む官民出資（20%）

地理的な範囲：1～数百のコミュニティー

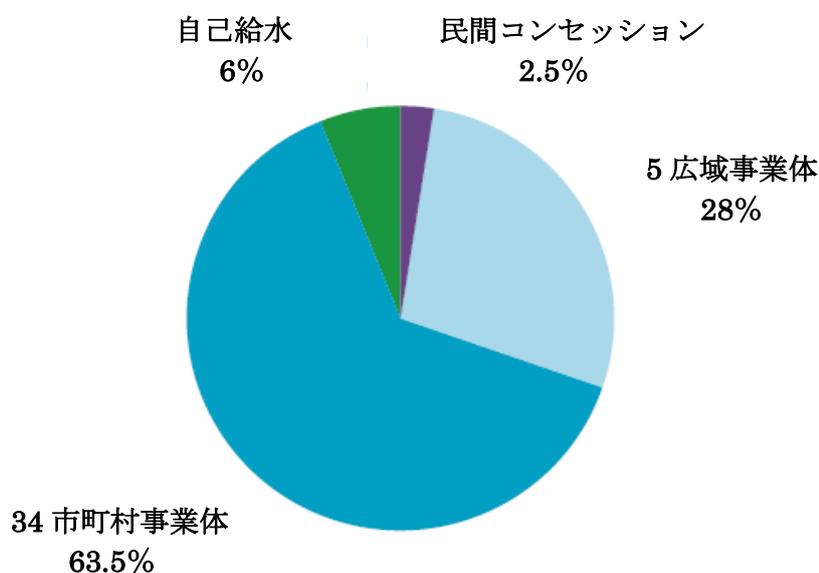
水サービスに関する法令：有

規制機関：有（HEA）

全国上下水道協会：有（ハンガリー上下水道事業協会（MAVIZ））

民間セクターの参入：法的規制により限定され減少傾向

図 水サービス提供事業者のタイプ及び割合



出典：RZS 2012B

2. 上下水道インフラの現状

水道管網は整備されているが、下水インフラについては依然として改善が必要とされている。水道管網は完備しているが、下水管網のカバー率は74%（KSH 2015）であり、過去数年間におけるペースは遅くなっているものの上昇している。浄水施設の状態は平均から良好な範囲にあるが、いくつかの市町村では、追加の処理（特に、砒素の除去）が必要であり、そのための投資プロジェクトが進行中である。

浄水施設数：846 施設（2011・2014 年、出典：UNDP/GEF DRP 2004 & TESZIR 2015）

下水処理施設数：663 施設（2011・2014 年、出典：UNDP/GEF DRP 2004 & TESZIR 2015）

水道管路延長：65,532km（2010 年、出典：KSH 2015）

下水管路延長：42,885km（2010 年、出典：KSH 2015）

3. 上下水道サービスの業務水準

水道サービスの水準は高い。水道サービスは1日24時間提供されており（専門家の推計）、飲料水水質基準の適合率は95%に達していると推定されている（EC2014）。水道水水質に問題があるところでは、代替の及び暫定的な解決策が提供される（例えば、ボトル水の配布）。しかし、地表下の水源（subsurface resources）が圧倒的な割合であることから、いくつかの無機物質が規制限界値を超えて存在している。その結果、時々、人口の25%を占めているコミュニティの40%が基準を超える無機物パラメーターを含む水道水を消費している。これらの無機物は、砒素、窒素化合物、鉄及びマンガンである（KvVM 2010）。水質改善プログラムは進行中であり、最新の飲料水水質の状態は、2回目の国家流域管理プランが完了後の2015年に利用可能となるであろう。

[上水道サービスの質]

家庭用1人1日水消費量：940（2013年、出典：KSH 2015）

1日の給水時間：24時間（2013年、出典：専門家の推計）

飲料水サンプルの基準適合率：95%（2011年、出典：EC 2014）

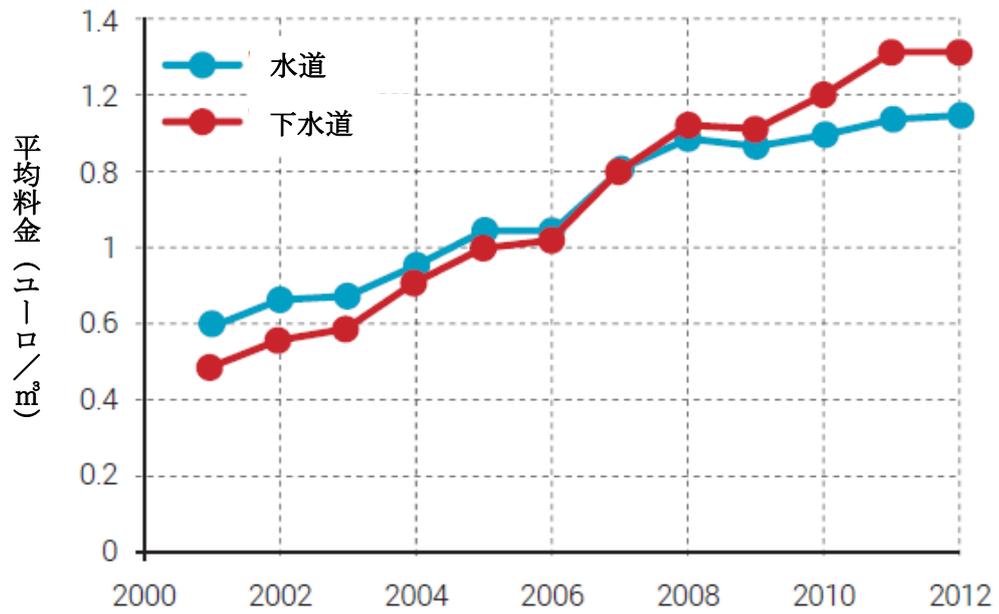
4. 上下水道サービスの効率性

事業体によって大きな差異があるが、上下水道セクターの全般的な効率性は良好である。ほとんどの業務指標において、ハンガリーの水セクターはドナウ流域の平均的な実績を上回っている。しかし、これらの平均的な数値の裏で、事業体間における効率性には著しい差異がある。2012年における無収水率は24%、6.1m³/km/日である（KSH 2015）。この水準は、ドナウ流域の他の国々と比較すると技術面での良好な実績を示している。しかし、無収水率は、ハンガリーの水道事業体の間で10%から45%まで様々である（KSH 2015）。

5. 上下水道料金

1990年代から2000年代における実質的な料金の大幅な値上げの後、インフレによって、上下水道料金は2001年から2008年の間に平均で2倍となった。しかし、2008年から2014年の間、上下水道料金は安定した状態にある。水道事業サービスに関する法律によって、利用者間での内部相互補助が認められていることから、商業用水道料金は家庭用料金よりも高い。

図 上下水道料金の推移



出典：専門家及び筆者の推計

配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までE-メールにてご連絡をお願いいたします。
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F (公財) 水道技術研究センター ホットニュース担当
E-MAIL : jwrchot@jwrc-net.or.jp
TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215
また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー（第58号以降）は、下記アドレスでご覧になれます。
バックナンバー一覧 <http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-h28.html>

水道ホットニュースの引用・転載について

水道ホットニュースの引用・転載等を希望される方は、上記ホットニュース担当までご連絡をお願いいたします。
なお、個別の企業・商品・技術等の広告にはご利用いただけません。